

## 第24回被ばく医療総合研究所 セミナー

**日時** 平成29年9月14日(木) 17時～18時

**場所** 保健学研究科E棟2階 第21・22講義室

**演者** 被ばく医療総合研究所 放射線生物学部門  
准教授 三浦 富智

**演題** 「緊急被ばく医療および医療被ばくにおける染色体異常解析」

**対象者** 学生、教職員、一般の方

### 要旨

近年、糖尿病の罹患者数は急増し、米国では人口の3人に一人が糖尿病の疑いがあると推定されています。この傾向はわが国でも同様で、男性の15.5%、女性の9.8%で糖尿病が強く疑われます。この結果は、被ばく患者に糖尿病有病者が含まれる可能性が非常に高いことを示唆しています。

緊急被ばく医療における生物学的量評価(biodosimetry)では、放射線被ばくにより誘導される染色体異常頻度を解析し、被ばく線量を推定します。では、糖尿病有病者では放射線被ばくによって引き起こされる染色体異常頻度に差があるのでしょうか？我々は2型糖尿病モデルマウスを用い、染色体異常頻度と放射線被ばくの研究を行っています。今回のセミナーでは、2型糖尿病モデルマウスを用いた研究成果を紹介いたします。

さらに、近年、画像診断機器による医療被ばくが問題視されています。腰椎神経根ブロック治療でX線透視検査を多用する整形外科医では、手指の皮膚障害が認められることがあります。我々は、腰椎神経根ブロック治療に携わる整形外科医と連携し、末梢血リンパ球における染色体異常を解析しており、本セミナーではその結果の一部を紹介いたします。